

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 507

事務事業名	小学校体育大会開催事業	
基本目標	010202	人を育むまち
政策		豊かな学力と生きる力を育む教育の充実
施策		小・中学校教育の充実
関連施策		

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	教育委員会		
課名	学校教育課		
課長名	丹野平三	内線	365
担当者名	坂田幸広	内線	376

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

会計	一般会計	
款	10	教育費
項	01	教育総務費
目	02	事務局費
事業コード	110000	

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	市内小学生5・6年生全員		
意図 対象をどのような状態にしたいか	教育活動の一環としてとらえ、各種大会を通じて体育の振興や生涯にわたってスポーツに親しむための基礎づくりとする。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	市内小学生の体育の充実・発展及び心身の健全な発達等を図るため、体育祭を小学校体育連盟に、水泳大会を水泳大会実行委員会に委託している。		
事業期間	年度 ~ 平成	年度	実施方法 委託
根拠法令、要綱等	学校教育法施行規則第24条 学習指導要領		
国・県補助事業に係る本市単独施策			

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標 ①	体育祭参加者数	計画値	2,148	2,086	2,076	2,061	
		実績値	2,162	2,087	2,076		
		達成度	100.7%	100.0%	100.0%		
活動指標 ②	水泳大会参加者数	計画値	500	500	500	500	
		実績値	629	578	602		
		達成度	125.8%	115.6%	120.4%		
成果指標 ①	運動の楽しさの体験・他校児童との交流及び集団行動様式の習得	計画値					児童の体育に取り組む姿勢により評価する。(関心・意欲・態度)
		実績値					
		達成度	%				
成果指標 ②		計画値					
		実績値					
		達成度	%				

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	1,906	1,854	2,222	3,221	3,384	3,384	3,384	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	1,906	1,854	2,222	3,221	3,384	3,384	3,384	
② 人件費(千円)	2,604	2,467	2,821	1,504	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.30	0.30	0.40	0.20				
時間外勤務(時間)	110	100		25				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	4,510	4,321	5,043	4,725				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	小学校児童の体育の振興や他校児童との交流等の成果をあげているが、競技に主眼を置く水泳大会としないことや競技規則の見直し確認を行い、参加数の増を図った。
事業が抱える問題・課題等	長年に渡り開催してきた水泳大会であるが、①大会運営面、②児童及び教職員の安全面、③教育環境の変化、④教職員の勤務態様の変化等から、今後の実施のあり方について検証する必要がある。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	市内全小学校5・6年生が対象であり、妥当性がある。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	市内全小学校5・6年生が対象であり、市が関与することが妥当である。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	日ごろの体育科学習等の成果を市内のすべての学校が参加し発表するものであり、健全な心身を育み、親睦を図る上で成果を上げている。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	児童にとっては、親睦を深め、技を競い合う貴重な機会となっている。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	体育大会や水泳大会の会場を含めた運営面から、参加者数は現状を超えない範囲で維持しつつ、子どもたちの体力向上のためにも継続が必要である。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等	児童生徒にとって目標とするものであり、健全な育成のために不可欠である。			内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。